

Koichi Manabe

TENPLA SELECTION  テンプラ・セレクション Vol.62

真部 剛一展 虚実皮膜

平成26年 8月5日【火】～10日【日】 10時～18時（最終日は16時まで）

岡山県天神山文化プラザ・第2展示室 「入場無料」

真部剛一展 虚実皮膜

テンpla・セレクションは、岡山県ゆかりの美術作家を個展形式で紹介する、天神山文化プラザの企画展シリーズです。

真部剛一は、岡山市出身、京都市在住の現代美術家です。岡山を拠点に国内外で、現代社会における諸問題をテーマにアートプロジェクトを展開。ホームレス、障害のある人、島の高齢の人、在日コリアンの方々など、特殊な状況の中で社会との問題と向き合いながら生きる人々と長期的に関わり、その過程を現在進行中の作品として発表しています。真部は「私が彼らと関わることで見てきた『いま、ここに生きている』という現実。そして、社会との関わりで消えていった『いま、ここにはいない』という虚構。それら相反する虚実を行ったり来たりしながら、彼らを見届けてきた。」と言います。

中国の説話「胡蝶の夢」に、蝶となって楽しく舞う夢から覚めた荘子が「いったい自分が蝶となった夢を見たのか、それとも蝶が自分になった夢を見ているのだろうか。」と問う一節があります。蝶が彷徨うのは「現実と虚構との微妙な境界」。真部はこれを「虚実皮膜」と考えて自身の制作と重ね、虚と実の間に注目することで表現の原点を見出そうとしています。

本展では、これまでに真部が関わってきた様々な人との間に生まれた虚実皮膜の断片をインスタレーションとして展示します。

*「虚実皮膜」とは、芸術の真実は現実と虚構との微妙な境界にあるとして近松門左衛門が唱えた芸術論



「ホームタウンホームレス(部分)」映像、インスタレーション 2010年



「真鍋島の真鍋さん(部分)」映像、インスタレーション 2008年

【会 期】2014年8月5日～10日
 【時 間】10時～18時(最終日は16時まで)
 【会 場】岡山県天神山文化プラザ・地階 第2展示室

真部剛一 Koichi Manabe

1974 岡山市生まれ
 1999 京都市立芸術大学 大学院 美術研究科 修士
 現在 京都市在住


□ 主な個展・グループ展・プロジェクト

- 1994 自由工場京都展 (西陣織物工場跡地 / 京都)
- 2001 奉還町アート商店街 (奉還町商店街 / 岡山)
- 2002 ニュータウンアートタウン展 (山陽田地全域 / 岡山県山陽町)
- 2003 黄土高原・楊家溝村にてアートプロジェクトを開始 (陝西省・中国)
- 2004 histream (黄土高原・楊家溝村 / 陝西省・中国)
- TRUE COLORS (シラバ/コーン大学アートギャラリー / バンコク・タイ)
- 2005 「煙の変遷 -histream of smoke-」展 (ギャラリーすろおが463 / 岡山)
 昭和40年会 presents 七人の小侍+1 (ANPONTAN / 東京)
- 2006 「記憶の集積を創造の海へ」展 (丸亀市塩飽本島町笠島地区 / 香川)
 アートの今:岡山2006
 (岡山県天神山文化プラザ・高梁市歴史美術館・勝央美術文芸館)
- 2007 「ホームタウンホームレス」プロジェクトを開始 (岡山)
- 2008 ごんびらアート 2008・虎丸社中 (丸亀市琴平丸旅館 / 香川)
- 2010 朝鮮学校ダイアログ「ホームタウンホームレス」
 (旧朝岡山朝鮮初級中学校 / 岡山)
 「D調 / Di-stances」D調當代影像装置藝術展 (關渡美術館 / 台北・台湾)
 「ホームタウンホームレス」個展 (ギャラリー8×8 / 岡山)
- 2011 朝鮮学校ダイアログ「11・12」(旧朝岡山朝鮮初級中学校 / 岡山)

表面:「煙の変遷 -histream of smoke-(部分)」
 インスタレーション 2005年

主 催: 岡山県天神山文化プラザ

指定管理者:公益社団法人岡山県文化連盟

助 成:  公益財団法人
 福武教育文化振興財団

指定管理者 公益社団法人 岡山県文化連盟
天神山文化プラザ
 Tenjinjima Cultural Plaza of Okayama Prefecture

岡山市北区天神町8-54 Tel.086-226-5005
<http://www.tenplaza.info/>



※当館の駐車場に限りがありますが、なるべく公共交通機関をご利用ください。
 JR岡山駅から ▶【徒歩】15分 ▶【バス】藤原地行「天神町」下車
 ▶【市内電車】東山行「城下」下車・徒歩3分